

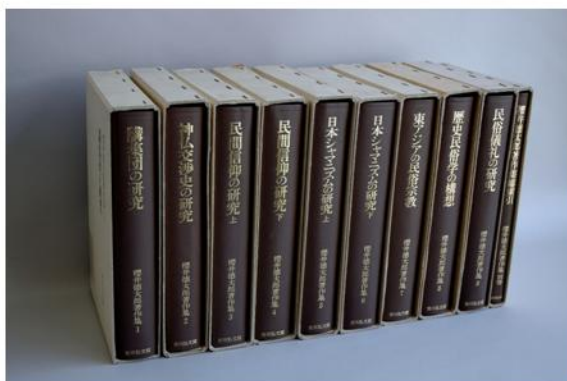
「櫻井徳太郎文庫」の概要

「櫻井徳太郎文庫」（平成12年4月開設）は、日本民俗学の大家で、かつ日本宗教史の権威である櫻井徳太郎元駒澤大学学長（平成19年8月逝去）が、板橋区に対して寄贈された蔵書等約3万余点の総称です。現在、櫻井徳太郎文庫の蔵書等はすべて「板橋区公文書館」の閲覧室で利用することができます。

櫻井徳太郎先生は、新潟のお生まれですが、板橋区に長くお住まいになられ、板橋区を第二のふるさととしておられました。先生は、その「第二のふるさと板橋区」の文化発展に寄与したいというご希望から、ご自分の蔵書を区に寄贈しようとお決めになられました。「民俗学や歴史学を研究する人々が行き来する、文化の拠点となってほしい」、「大学以外の場所で、地域の中でも学問をすすめられるようになってほしい」・・・そんな願いが込められて、板橋区民の財産となりました。

櫻井徳太郎文庫の主な内容

- ・ 歴史、民俗学に関する学術書 約 1万4千点
- ・ 地方史資料や学会・大学・研究所発行の報告書など 約 2千点
- ・ 歴史、民俗関係雑誌 約 1万7千点
- ・ 他に調査ノート、カード、写真、テープなど



櫻井徳太郎先生の著作の一部と現在の櫻井徳太郎文庫の内部